

かぞくのくに (2011)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 100分
初公開日 2012/08/04
公開情報 スターサンズ
映倫 G

【キャッチコピー】

25年が経過して、兄があ国から帰ってきた…

【解説】

2本のドキュメンタリー「ディア・ピョンヤン」「愛しきソナ」で自らの家族の物語を見つめてきた在日コリアン2世のヤン・ヨンヒ監督が、自らの実体験をベースに今度は自身初のフィクションとして撮り上げた感動の家族ドラマ。1970年代に帰国事業で北朝鮮へと渡った長男が25年ぶりに帰国し、日本に暮らす家族と束の間の団らんを実現する中で、2つの国の間で翻弄される人々の悲しみと複雑な思いを丁寧な筆致で描き出す。主演は「愛のむきだし」の安藤サクラと「空気人形」の井浦新。共演に「息もできない」のヤン・イクチュン。

1959年から20数年間にわたって、在日朝鮮人とその家族が日本から北朝鮮へ集団で移住する“帰国事業”が行われていた。1970年代に16歳でこの帰国事業に参加して北朝鮮に移住したソンホが、1997年、脳腫瘍の治療のために25年ぶりに日本に再入国を果たす。しかし期間はわずか3ヵ月間だけ。日本で自由に生きてきた妹のリエは、そんな兄との再会を心待ちにしていた。しかし久々の家族団らんのはずが、ソンホの隣には見知らぬ男性が監視役として同行していた。旧友たちとの再会にも、ソンホの表情は硬いまま。そんな中、肝心の治療は、3ヵ月では責任が持てないと医師に断られてしまうソンホだったが…。

【クレジット】

| | |
|----------------|--------------|
| 監督 | ヤン・ヨンヒ |
| 企画 | 河村光庸 |
| エグゼクティブプロデューサー | 河村光庸 |
| プロデューサー | 佐藤順子 越川道夫 |
| 脚本 | ヤン・ヨンヒ |
| 撮影 | 戸田義久 |
| 美術 | 丸尾知行 |
| 衣装 | 宮本まさ江 |
| 編集 | 菊井貴繁 |
| 音響 | 菊池信之 |
| 音楽 | 岩代太郎 |
| 照明 | 山本浩資 |
| 装飾 | 藤田徹 |
| 助監督 | 高杉考宏 |
| 監督補 | 菊地健雄 |

出演

| | |
|----------|---------|
| 安藤サクラ | リエ |
| 井浦新 | ソンホ |
| ヤン・イクチュン | ヤン同志 |
| 京野ことみ | スニ |
| 大森立嗣 | ホンギ |
| 村上淳 | ジュノ |
| 省吾 | チョリ |
| 塩田貞治 | |
| 鈴木晋介 | |
| 山田真歩 | |
| 井村空美 | |
| 吉岡睦雄 | |
| 玄覺悠子 | |
| 金守珍 | |
| 諏訪太郎 | テジョ |
| 宮崎美子 | 母 (オモニ) |
| 津嘉山正種 | 父 (アボジ) |